

立正大学文学部文学科英語英米文学専攻コース NEWSLETTER VOL. 05

Faculty of Letters | Risho English | May 10, 2025

6月・7月オープンキャンパス模擬授業のご案内

6月15日(日)「命名の言語学：音・意味・文字の観点から」

命名というと、人の名前が浮かぶでしょうか。英語の苗字には、Smith, Miller, Clarkなどがありますね。実はどれも職業名です。Smith（鍛冶屋）、Miller（粉屋）、Clark（書記）、そして、シェイクスピアもShake-speare（槍を振る人）に由来する名前です。Johnson（Johnの息子）、McDonald（Donaldの息子）というタイプもあります。Micky Mouse, Donald Duckなどは、ねずみのミッキー、あひるのドナルドという形をしていますが、もうひとつ「頭韻」といって、最初の音が同じです。英語はPeter Pan, Kit Katのように頭韻が大好きです。アンパンマンに登場する「くるゆき姫」は「しらゆき姫」からの「類推」ですね。音声や意味や文字など、いろんな面からネーミングについて考えてみます。井川壽子（言語学・英語学）

6月15日オープンキャンパス事前予約
は5月30日から開始します→



7月20日(日)

「アニメーションと戦争—アメリカ文化を読み解く」

わたしたちにとって、アニメーションはあらゆる映像メディアのなかでも、もっとも身近なもののひとつです。そして、たいていは娯楽として楽しめるメディアだと思われがちです。でもじつは、アニメーションは戦争や人種問題、経済危機といった社会問題を描いてきた歴史があります。たとえば、20世紀のはじめから半ばにかけてのアメリカ合衆国では、そのような作品が多く制作されました。

この模擬授業では、第二次世界大戦中に作られたアメリカの短編作品を見ながら、アニメーションがどのように人びとを戦争に動員し、戦争を支持させる役割をはたしていたのかを考えていきます。増田久美子（アメリカ文学・文化）

探究学習のヒントになる！

夏休みオープンキャンパス模擬授業のお知らせ

2025年度来校型オープンキャンパス（夏期）は、以下の日程で品川キャンパスにて開催予定です。英文コースの模擬授業にぜひご参加ください。

- 8月16日(土) AI時代の英語力—本学の入試問題も例に（今井亮一）
- 8月17日(日) 「実写版」を考える—英文学とアニメの事例（伊澤高志）



学生によるゼミ紹介「アメリカの文学・文化を学ぶ」増田ゼミ

増田久美子先生のゼミでは、アメリカ合衆国を中心とした文学や文化について学んでいます。

前期では、英米のさまざまな文学作品から抜粋された英文教材を使って、短い英文を読み解いていきます。たんに訳出するだけでなく、作家の特徴やその作品の書かれた時代背景を踏まえ、さらに作品に関連する研究論文を読むことで、作品の理解を深めていきます。後期では、4年生は卒論中間報告、3年生は関心のあるテーマで自由発表がおこなわれます。発表やディスカッションの場では学年を問わず質問やアドバイスが飛び交い、自分の発表内容をあらためて再考することができます。



ゼミでの大河原さん

また、各学期末には普段のゼミ教室から端末室に移動して、レポートや論文の作成方法について実践的に学びます。先生やティーチング・アシスタントの大学院生の先輩から、ひとりひとり丁寧な指導を受けることができます。

増田ゼミの特徴といえば、4年生が「先生」役になって英文を解説する機会があることです。「先生」役は、文法の要点の他に作品背景についても詳しく調べなくてはなりません。聞き手が理解できるように、説明の仕方も工夫する必要があります。この経験は、とくに教員免許取得を目指す4年生にとって非常に役に立ちます。（英語英米文学専攻コース4年 大河原佑斗）

CASECで見える自分の英語力

語学の学修に熱心でも、英語力の伸びを具体的に把握できない不安を感じたことはありませんか？ 英文コースの学生は、入学時と1年終了時の2回、CASEC（英語コミュニケーション能力判定テスト）を受験し、自分の英語力を可視化することができます。昨年度、1年生の全体平均は1年間で**62点アップ**しました。伸び率が高い学生の得点（上位5名）とTOEIC換算点（2回目）は表のとおりです。

	上昇値	1回目点→2回目点	TOEIC® 換算点
1位	390	328 → 718	655
2位	302	272 → 574	500
3位	206	305 → 511	415
4位	142	259 → 401	315
5位	97	455 → 552	470

出張授業のご案内

英文コースでは、オープンキャンパス以外に高校出張授業をおこなっています。進路選択を考える機会として模擬授業を体験してみませんか？ 出張授業の希望、ご質問やご相談は、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】 elit@ris.ac.jp（英語英米文学専攻コース教務助手）

【模擬授業タイトル例】

- ・『くまのパディントン』に見る戦争と移民（イギリス文学）
- ・スヌーピー（『ピーナッツ』）で考える歴史と社会（アメリカ文化）
- ・ことばの世界の探訪：世界の言語と英語・日本語・中国語（言語学・英語学）
- ・American English の発音と聞き取り（英語コミュニケーション）